ブドウ輪紋病菌の学名とその著者

 岡山県立農業試験場
 畑
 本
 まとむ

 ホっっ
 もと
 けん

 市つ
 もと
 けん

 市へ
 本
 謙

はじめに

ブドウ輪紋病菌は、最初中国の湖北省で採集・記録され(Miyake, 1913)、その後西門・青木(1957)は日本におけるブドウの新病害として、病名を新たに輪紋病、病原菌を Marssonina viticola(Miy.)Papeとした。これ以来、日本国内ではこの病名と病原菌名が採用されて現在に至っている。筆者らは学名の著者名に疑問点があることに気付き、調査を進めてきたが、ここにその概要を報告し、今後正しく用いられることを希望する。

I ブドウ輪紋病菌の学名の変遷

MIYAKE (1913) は、1908年に中国湖北省で採集された ブドウ葉上の寄生菌を新種と認め, Marsonia sp. nov を記載した。記載と図は現在の輪紋病菌によく 一致する。属名の Marsonia は正しくは Marssonia とす べきであった。Marssonia 属は J. Fischer (1874) によっ て設けられた属であるが、すでに KARSTEN (1860) によっ て被子植物のイワタバコ科に Marssonia 属が設けられ ていたため、Fischerの属名は使えなくなった。そこで Magnus (1906) は Fischerの Marssonia に代わるものとし て Marssonina という新属名を提唱した。これが現在適 用されている属名である。Marssonia 属として記載され た種は、属徴が一致すれば Marssonina 属に移されて新 組合せが行われることになるが、まだ Marssonia 属の全 種について検討・転属が行われたわけではない。 SACCARDO and Trotter (1913) & Trotter and D. SACCARDO (1931)が Sylloge Fungorum の第 22 巻と第 25 巻をそれぞれ編集したとき、すでに Marssonina 属があ ったにもかかわらず, ほとんどの種を Marssonia 属とし て収録し、Marssonina 属の種としては第25巻にわずか 4種を掲げているにすぎない。Miyakeが記載した菌もま た Marssonia viticola MIYAKEとして第25巻に掲載され ている。このためであろうか,後年 SAWADA (1959) は, 台湾にブドウ輪紋病菌を記録したとき、菌名を誤って、 Marssonina viticola MIYAKEとしている。

日本では、戦後までブドウ輪紋病の発生は知られてい

Scientific Name of Grapevine Ring Spot Fungus and its Author. By Motomu Натамото and Ken Katsumoto なかったが、西門・青木(1957)は日本におけるブドウの新病害として病名を付けて報告した。このとき、病原菌の学名を Marssonina viticola (MIY.) Pape 1932であるとした。(MIY.) はもちろん (MIYAKE) であるが、この学名は間違ったままいろいろな文献に引用されてしまっている。日本有用植物病名目録第3巻・果樹(第2版)(1974)や、作物病害事典(1988)には(MIYABE)Papeとされている。これは最初の命名者である三宅市郎の姓を著名な宮部金吾の姓と間違えたのであろう。北島(1989)はカッコ内を訂正し、菌名を Marssonina viticola (MIYAKE) Papeとした。筆者の一人畑本は、岡山県にブドウ輪紋病の被害が広がっていることを報告したときに(畑本、1971、1989;畑本・藤井、1972、1974)、この学名の著者名に疑問をもったが、一応これに従っておいた。

ここで問題となるのは, 新組合せを行ったとされる Papeの名である。文献を探すと、Papeとは Heinrich PAPE (1891-没年不詳) であろうと思われ, この人物以外 に Papeという名は見当たらない。Papeは主に鑑賞植物の 病害を研究し、多くの論文を発表している。またこの人 の著書に "Krankheiten und Schädlingen Zierpflanzen"があって、その初版が1932年に発行され ている。西門・青木は学名の後ろに Pape 1932 と記して いるので、この著書を指すようにもとれる。しかし、こ の文献には Marssonina viticola に関する記述は出てい なかった。第4版が1954年に,第5版が1964年に発行 されているとのことであるが、見ることができなかっ た。もともとこの著書は、タイトルが示すようにヨーロ ッパにおける観賞植物の病虫害について通俗的に述べた ものであるから、中国でただ一度記録されたブドウの病 害が掲載されているということは考えられないといって よいであろう。それなら PAPEのほかの論文に発表されて いるのであろうか。できるかぎり検索した結果では、ブ ドウの病害または病原菌について記した論文は見当たら なかった。出典について教えを乞おうにも, 西門, 青木 両氏ともすでに故人となっていて尋ねるすべもない。

ここで方向を変えてCMIのIndex of Fungi-Petrak's List から検索すると, *Marssonina viticola*(MIYAKE) TAI という学名に行き当たった。中国の文献を探索すると,

戴芳瀾 (1979) の著書では Marssonina viticola MIYAKEとなっていて、湖北省と台湾に分布するとされ、魏景超 (1979) の著書では Marssonina viticola (MIYAKE) TAIとなっている。戴の著書は、著者の没後に原稿を整理・出版したもので、この学名は後に述べる SAWADA (1959) の学名をそのまま引用してしまったものと思われる。これらから戴の論文を検索して、TAI、F. L. (1937) : A list of fungi hitherto known from China. Parts II、III、and IV. という論文にたどりついた。そこで中国科学院(北京)の鄭儒永博士にお願いして、該当ページのコピーを送ってもらい、Marssonina 属に移されたブドウ輪紋病菌の学名を確認することができた。

西門・青木による学名の著者がどうして PAPEになったのかは不明のままであるが,何かの手違いで間違って書かれてしまったことは確かである。

Ⅱ ブドウ輪紋病菌の学名

以上の調査結果から,ブドウ輪紋病菌の正しい学名は 次のようになる。

Marssonina viticola (MIYAKE) TAI, Sci. Rep. Tsing Hua Univ., Ser. B, 2 (4-6): 461, 1937.

≡ Marssonia viticola Miyake, Bot. Mag. Tokyo 27: 52, 1913. (ut Marsonia)

Ⅲ ブドウ輪紋病菌の分布

最初中国湖北省で採集されて以来、中国大陸では記録

がない。1959年に沢田兼吉:台湾産菌類調査報告の遺稿が出版されたとき、この中で本菌が台北に記録された。 日本では戦後になって存在が明らかとなったが、その他の国には発生の記録が見られないので、現在知られている本菌の分布地域は日本と中国(湖北省及び台湾)ということになる。

引用文献

- 1) 畑本 求 (1971): 岡山農試時報 623: 308~311.
- 2) (1989): 岡山農試臨時報告 79:1~81.
- 3) --- · 藤井新太郎 (1972): 日植病報 38: 189
 -) · 藤井新太郎 (1974): 同上 40: 139.
- 5) 岸 国平編 (1988): 作物病害事典, 全国農村教育協会, 東京, pp. 731.
- 6) 北島 博 (1989): 果樹病害各論,養賢堂,東京, pp. 428.
- 7) MIYAKE, I. (1913): Bot. Mag. (Tokyo) 27: 45~54.
- 8) 日本植物病理学会編 (1974): 日本有用植物病名目録 第3 巻, 果樹, 第2版, 日本植物防疫協会, 東京, pp. 67.
- 9) 西門義一·青木嘉夫 (19579): 日植病報 22:53 (講演要旨).
- PAPE, H. (1932): Die Praxis der Bekämpfung von Krankheiten und Schädlingen der Zierpflanzen. Paul Parey, Berlin, pp. 361.
- 11) SAWADA, K. (1959): Spec. Publ. Coll. Agric. Natn. Taiwan Univ. 8: 178.
- 12) Saccardo, P. A. and A. Trotter (1913): Sylloge Fungorum 22 (Sect. 2): 1210.
- 13) TROTTER, A. and D. SACCARDO (1931): Saccardo's Sylloge Fungorum 25: 589.
- 14) Tai, F. L. (1937): Sci. Rep. Tsing Hua Univ., Ser. B. 2 (4-6): 191~639.
- 15) 戴芳瀾 (1979): 中国真菌総覧, 科学出版社, 北京, pp. 997.
- 16) 魏景超 (1979): 真菌鑑定手冊, 上海科学技術出版社, 上海, pp. 477.

(23ページより続く)

- 長) は農業環境技術研究所資材動態部農薬動態科除草 剤動態研究室長に
- 石井康雄氏(農環研資材動態部農薬動態科殺虫剤動態研究室長)は農業環境技術研究所資材動態部農薬動態科 農薬管理研究室長に
- 桑原雅彦氏(国際農林水産業研究センター生産利用部主 任研究官)は農業環境技術研究所資材動態部農薬動態 科殺虫剤動態研究室長に
- 島貫忠幸氏(北海道農試地域基盤研究部低温病理研究室 長)は草地試験場環境部作物病害研究室長に
- 吉松慎一氏(農環研環境生物部主任研究官(昆虫管理科 昆虫分類研究室))は草地試験場環境部主任研究官(作 物害虫研究室)に
- 柳沼勝彦氏 (果樹試保護部主任研究官 (天敵微生物研究室)) は果樹試験場盛岡支場主任研究官(虫害研究室)に 秋田 滋氏 (野菜・茶試茶栽培部主任研究官 (病害研究室)) は野菜・茶業試験場茶栽培部病害研究室長に
- 西村範夫氏(九州農試企画連絡室主任研究官(研究交流第 1 科) は野菜・茶業試験場久留米支場病害研究室長に 對馬誠也氏(農環研環境生物部主任研究官(微生物管理 科土壌微生物生態研究室))は東北農業試験場企画連絡

室主任研究官(総合研究第3チーム)に

- 古賀博則氏(草地試験場環境部主任研究官(作物病害研究 室))は東北農業試験場水田利用部水田病害研究室長に
- 後藤孝雄氏(長崎県総合農試愛野馬鈴薯支場環境科長 (馬鈴薯病害指定試験地主任)) は四国農業試験場企画 連絡室業務科長に
- 平八重一之氏(生物研遺伝資源第二部主任研究官(微生物保存研究チーム)は九州農業試験場地域基盤研究部 主任研究官(流行機構研究室)に
- 宮本和久氏(果樹試保護部主任研究官(天敵微生物研究室))は蚕糸・昆虫農業技術研究所生産技術部虫害研究室長に
- 小林紀彦氏(野菜・茶試久留米支場病害研究室長)は国際 農林水産業研究センター海外情報部国際研究情報官に
- 安藤康雄氏 (野菜・茶試茶栽培部主任研究官 (病害研究室)) は国際農林水産業研究センター畜産草地部主任研究官に
- 高橋敬一氏 (草地試環境部主任研究官 (作物害虫研究室))は国際農林水産業研究センター沖縄支所主任研究官 (作物保護研究室) に
- 仲川晃生氏(中国農試生産環境部主任研究官(発病機構研究室))は長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場環境 (34ページに続く)